

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成 (2) 協議会の開催計画

家庭・地域・学校協議会	家庭	PTA会長	
	家庭	PTA母親代表	(1)
	地域	市青少年育成推進委員	(1)
		民生児童委員	(2)
		まちづくり協議会	(2)
		社会教育委員	(1)
		学識経験者	(1)
	学校	坂井青年会議所	(1)
		学校長	
		教頭	
学校	教務主任・各部長	(6)	

※地域コーディネーター  
まちづくり協議会委員 (1名)  
民生委員・学識経験者 (1名)

### ○開催予定回数

年間3回

1学期(5月) 2学期(10月) 3学期(2月)

※その他、必要に応じて開催。

学校行事・学校開放週間中にも随時参加

### ○協議内容

- 1学期：年間計画・スクールプラン説明と地域による学校支援の具体的検討
- 2学期：活動内容や取り組みの中間報告と評価、及び課題についての協議
- 3学期：今年度の学校評価報告と来年度の課題についての協議

### (3) 協議会における成果と課題

- ・学校だより・学年だより・ホームページあるいは授業参観や学校行事などを通して、学校の様子を知ってもらうことで、学校への要望や意見をお聞きすることができた。
- ・集約した内容は職員会議等を通して職員に周知し、緊急性の高いことや実現が可能な事柄から、速やかに改善していくように努めた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

体験活動を行う中で地域の良さや課題を見つけ、ふるさとに誇りや愛着を持ち、よりよいふるさとづくりについて積極的に考えられるとともに、地域での活動にボランティアとして参加することを通してふるさとへの興味・関心を高め、ふるさとに貢献しようとする生徒を育成する。

### (2) 活動の実際

#### 【キャリアミーティング】(2/5)

1年生を対象に、地域で活躍している方を招き、地域の達人に学ぶ「キャリアミーティング」を行い、働くことの意義や喜び、その仕事に就くために必要な資格や、今何をすべきかなどを聞き、将来の仕事について考える機会を準備してきた。今年は、「看護師」「旅行会社」など10業種の方から話を聞くことができた。

そのため、次年度の職場体験を前に「職業に就くことの尊さ」や「仕事に就くまでの具体的な過程」など様々なことを学ぶことができた。

#### 【職場体験】(6/4~6/6)

2年生210名の生徒が坂井市内外の61の事業所に分かれて3日間の職場体験を実施した。生徒にとっては、実際の職場を体験できる絶好の機会であり、貴重な体験となった。職場により仕事内容は様々であるが、学校とは違った場所で、教師や親以外の大人と接しながら仕事をしていくことは大変有意義であり、自分の職業観を形成する上で重要な体験であった。



■防災航空隊

### 【赤ちゃん抱っこ体験】(9/30~10/2)

2年生を対象に、「赤ちゃん抱っこ体験」を実施した。最初はおそるおそる接していた生徒たちも、赤ちゃんとおふれあい、その優しい眼差しを見て、次第に表情が和らいでいった。赤ちゃんが笑顔を見せてくれると、生徒達からも自然と笑顔があふれ、ほのぼのとした時間が過ぎていった。生徒達からは、自分も多くの方に支えられて現在に至っていることや、人の温かさを実感し、ひとつひとつの命を大切にしようと感じたなどの感想があり、貴重な体験を積むことができた。



■ 赤ちゃん抱っこ体験

### 【地域貢献ボランティア活動】(通年)

地域貢献ボランティア活動にも力を入れている。学校で学んだことを地域や家庭で生かすこと、また、地域の人達から学ぶために、地域でのボランティア活動や地域行事等に積極的に参加する地域貢献活動を推奨している。現在は延べ1350名ほどのが参加できた。地域のイベントをはじめ、古城マラソンへの参加、川や公共施設の清掃、敬老会などの慰問など、しっかり取り組むことができた。



■ 古城マラソン

#### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・積極的に学校行事に参加していただき、生徒たちの活動の様子を見ながら意見や感想をいただいた。
- ・会議の時間を生徒たちが活動している平日の午後に設け、普段の学校生活なども見学していただいた。
- ・地域の活動の中で、中学生が参加できる行事や催しなど紹介していただいた。

#### (4) 特に工夫した事項

- ・地域貢献ボランティア活動を全校生徒に奨励し、積極展に参加した生徒には「丸中賞」として学校賞を与えている。
- ・生徒が地域の活動に個人や部活動で参加しやすいように、年間の見通しを持てるよう活動一覧表を与えた。

#### (5) 成果と課題

2年生の「職場体験」は3日間であるが、実際の仕事を知る貴重な体験になった。課題として、受け入れ可能な企業等が年々減少しているの、来年度は2日間に縮小し、地域の企業や事業所の協力を得ていきたい。

「赤ちゃん抱っこ体験」では、自他の生命の尊さやここまでの成長に対する感謝などを考えるよい機会となり、大変有意義な学習である。しかし、協力して下さる親子の数の問題や開催時期（インフルエンザの時期を外す）や活動場所の問題などがあり、市の関係者と調整していく必要がある。

全校で取り組んだ「地域貢献ボランティア活動」は、地域の中で自分を活かし、地域の中で育ててもらった貴重な体験である。今年は台風の影響で古城総踊りが中止になった。今後も地域行事等の情報収集と早めの周知で、積極的な地域貢献を計画的に実施していきたい。